

令和元年度 新潟市立図書館施策・事業評価シート

◇全館共通項目は、中央図書館を含めた中心館が共通の意識を持って取り組んだ事業。
◆館の重点評価項目は、亀田図書館が重点的に取り組んだ事業。

中心図書館名： 亀田図書館

区分	施策・事業名	概要	実施結果	評価		
				自己評価	外部評価	
課題解決型図書館	◇全館共通評価項目	・市民に身近な課題解決のためレファレンス(調査・相談)サービスを充実させ、迅速かつ確かな情報提供を行う。	・レファレンス件数 7,382件 (うち所蔵調査 6,383件、事項調査 999件) 【参考】 H30レファレンス件数 6,519件 (うち所蔵調査 5,712件、事項調査 807件)	・「所蔵調査」、「事項調査」ともに対前年度比で増加。特に、より専門的な事項調査は年々大きく増加しており、図書館の役割や取り組みについて、理解が進んでいる。 ・カウンターにレファレンス相談コーナーを設置し、利用者が気軽に相談できる環境を整備した。 ・「区役所だより こうなん」等でサービスのPRを行った。	3 大変評価する。 100%	・相談コーナーの設置をはじめとした利用者サービスが相談件数の伸びにつながっていると考える。 ・カウンターにレファレンス相談コーナーを設置し、サービスを充実させている点を大変評価する。 ・カウンターにレファレンス相談コーナーを設置したのは、利用者がどこに行けば相談できるのかわかって良かったと思う。区役所だよりでもPRし、広めたのは良かったと思う。 ・相談コーナー設置は良いアイデアである。 ・なんでも「教える」という、オープンさのPRをしてほしい。 ・「レファレンス」という言葉は、わかりづらい。「問い合わせ」「調べる」「探す」「情報提供」等を使つたらよい。 ・概要にあるサービスの充実に向けて、利用者ニーズへの向上を高めてほしい。
	◆館の重点評価項目	・関係機関、団体等の協力を得ながら事業を実施するとともに、市や区の施策に関連した展示を行うなど、市民の生活課題の解決に向けた情報提供を行う。	・行政書士無料相談会参加者数及び関連資料展示参加者数 2人 ・市や区の施策に関連した企画展示の実績 9回 ・子育て支援コーナーの充実 734冊(R2.3月末時点) ・主催講演会「防ごう特殊詐欺 守ろう財産」の開催	・行政書士無料相談会では、2枠募集のところ、受付後すぐに枠が埋まり、関心の高さがうかがえる。関連資料展示を合わせて実施し、市民の課題解決の一助となった。 ・市、区の施策と絡めて企画展示を実施することにより地域に身近な図書館として、タイムリーに情報発信を行うことができた。 ・子育て支援コーナー内に、パパコーナーを設置し、父親の育児参加を意識付けるとともに、子育て関連のチラシ・パンフレットを置き、子育て世代の情報発信に努めた。	3 大変評価する。 71.4%	・企画展示やイベントの質も大切であるが、親しみやすい図書館での開催が、市民の関心や参加意欲をかき立てると考える。今後も、ニーズに応じた企画を充実させてほしい。 ・市や区の施策に関連した企画展示が多数回開催されており、市民の生活課題に向けた情報提供が充実しているものと思う。 ・図書館と関係機関・団体とも連携して事業を行ったことは良かった。「防ごう特殊詐欺・守ろう財産」の講演会に参加し、専門の方が分かりやすく話してくれて勉強になった。 ・子育て支援コーナーを充実させたのはすばらしい。 ・子育て支援コーナーが大変充実していると感じる。 ・今一番の関心事は、新型コロナウイルス感染症だろう。忙しい関係者だが、行政(保健所)、医師、看護師、薬関係者に感染対策や感染の現況等を教えてほしい。 ・受付枠がすぐに埋まった点は評価する。反対に受付枠が少なすぎるのでは？と疑問が残る。
特色ある地域づくり図書館	◇全館共通評価項目	・各区を代表する人物・自然風土・産業等の地域コレクションの形成と展示を行う。	・地域資料の収集、展示実績 地域資料蔵書冊数 6,911冊(前年度比 311冊増) ・俳句資料の収集、展示実績 俳句資料蔵書冊数 6045冊(前年度比 58冊増) 俳句関連展示 2回、特別コレクション展示 5回	・地域づくりの拠点としての役割を担う図書館として、郷土や行政資料など、地域資料の収集を積極的におこなひ、蔵書冊数の増につなげた。 ・郷土、俳句関連の資料展示、地域ゆかりの俳人・句碑「江南区のいしぶみ散歩」の特別コレクション展示を実施し、地域の伝統文化の継承に取り組んだ。	3 大変評価する。 42.9%	・地域資料の収集を計画的に行い、蔵書冊数を増やしていることが評価できる。 ・継続的に地域資料を収集するとともに、それらの特徴づけて展示する企画展を開催し、伝統の継承に尽力されている点を評価する。 ・地域資料の収集を積極的に行い、蔵書増につなげているのは良いことだと思う。 ・「江南区のいしぶみ散歩」は、地域の宝として大切にしていきたいと思うので展示、継承は良かった。 ・区を代表する顕著な偉人等を教えてほしい。どのような人が偉人なのかわからないが、世の中に認められた人のデータを開示、展示してほしい。写真があればよい。 ・社会のニーズに過ぎないが、郷土の資料を集める点は評価できる。
	◆館の重点評価項目	・江南区を代表する人物・自然風土・産業等の地域コレクションの形成と展示を行う。	・江南区中学生俳句作品展の実施及び関連展示を行う。	・江南区中学生俳句作品展では、区内中学校6校のうち、4校から協力をいただき、80点の作品を展示。各中学校の教師の負担軽減を図りつつ、古くから江南区で盛んだった俳句文化への親しみと、文化継承に取り組んだ。	3 大変評価する。 57.1%	・中学生の参画は、郷土への愛着や図書館事業への関心を高めることにつながる。また、子どもの作品が展示されれば、大人も来館する。可能な限り情宣に努め、継続してほしい。 ・江南区の特徴として古くから俳句が盛んだったという点を取り上げ、中学生から作品を募る観点を大変評価する。 ・江南区中学生俳句作品展は、毎年楽しみにしている。俳句の継承という意味でも、継続してほしい。中学校の教師の負担軽減を図ることは、今後も考えていってほしい。 ・地元中学生の俳句作品展は、文化継承に力になると思う。田村紅子氏発刊の俳誌「雪」が図書館にあるが、一般人への啓蒙が少ないように思える。江南区は伝統はあるが活動が見えづらい。 ・80点の作品が集まった点は評価。2校から協力をもらえなかった点の反省が見えないのはマイナス点。
子ども・社会・民書融合型図書館	◇全館共通評価項目	子どもの読書環境の整備	・ブックスタート事業の実施 15回実施、467人参加(参加率97.6%) ・赤ちゃんタイムの実施 毎週火・水曜日 ・赤ちゃんタイムおはなしのじかんの実施 21回、260人参加 ・うちどく読書ノートの配布 570冊	・子ども図書室に、ブックスタートコーナーを設置し、PRするとともに、事業を継続実施することで、乳児期の読書環境の大切さについて働きかけることができた。 ・赤ちゃんタイムおはなしのじかんを月2回実施し、乳幼児と保護者が絵本の読み聞かせやわらべうたの楽しさに触れる機会を創出できた。 ・うちどく読書ノートを配布することにより、うちどく(家読)の推進をおこなった。	3 大変評価する。 100%	・乳児期、幼児期の子どもと絵本の出会いには大きな意義を感じる。情操面でも、小学校入学期の言語や文字習得の面でも効果が大きい。 ・若い父母にとっても、図書館を身近にする取り組みである。 ・うちどく読書ノートは、本を読んだ記録が読者の手元に残り、読書の動機付けにつながるすばらしい施策だと思う。 ・ブックスタートコーナーや赤ちゃんタイムおはなしのじかんの実施は、保護者や、赤ちゃん、子どもたちにとっても良い機会になっていると思う。参加する方の表情がとてもやわらかい。 ・うちどく読書ノートは、読書の励みになると思う。 ・読書のバトンをつなぐ子ども読書活動を応援する。本を読むための働きかけ、事業実施は大賛成。特に「読み聞かせボランティア」の養成に力を入れてほしい。 ・参加率97.6%は高評価、社会からのニーズを感じる。
	◆館の重点評価項目	子どもの読書環境整備に向けた多様な取り組みの実施	・おはなしのじかんの実施 (定例会)53回、576人参加 (スペシャル等)4回、34人参加 ・子ども対象事業の実施 この本だいすき！、体験しよう！図書館のしごと きみのためのものがたり自動販売機、本の魚釣り堀体験 ・視察、施設見学、職場体験学習の受け入れ ・子育て支援(読書活動)への職員派遣	・おはなしのじかんを図書館職員と読み聞かせボランティアの協働で実施することにより、読書へ親しむ環境づくりに努めた。 ・子ども対象事業を積極的に実施し、特に今年度は、体験型の事業を取り入れ、子どもたちの遊び心を読書に繋げる取り組みを行った。 ・子育て支援施設等へ講師を派遣し、親子の読書環境整備に取り組んだ。	3 大変評価する。 85.7%	・おはなしのじかんを多数回開催しており、これを目指して図書館を訪れる子どもが多いのではないかと考える。今後も、他の図書館と情報交換をしたり、学校訪問をしたりして、楽しい読書推進計画を進めてほしい。 ・「本の自動販売機」、「本の魚釣り堀」など、楽しく、また意外性のある本との出会いを作る、様々な工夫を取り入れている点を高く評価する。 ・おはなしのじかんの協働実施は良かった。 ・子どもたちがワクワクして参加できる自動販売機や本の魚釣りは楽しそうだった。楽しみながら、本に親しむ機会が増えることはこれからも工夫してほしい。 ・読み聞かせボランティアが図書館から飛び出して地域の色々なデポで読書会をやるように人が集まると良い。大人にも話芸を聞かせてほしい。 ・合計で600名以上が参加する事業、ぜひ大切にしていってほしい。
市民参画と協働を推進する	◇全館共通評価項目	ボランティアや教育機関・民間団体等との協働	・施設見学の受け入れ 小学校1校 36人 ・職場体験の受け入れ 中学校3校 延べ13人 ・配架、書架整理ボランティア活動受け入れ 138回、延べ181人	・施設見学に合わせて、絵本の読み聞かせを実施し、図書館の役割と読書活動への理解を深めた。 ・中学生の職場体験を通じて、図書館業務の楽しさや、業務範囲の広さ、奥深さを知ってもらうきっかけとなった。 ・配架、書架整理ボランティアを積極的に受け入れ、市民との協働を推進した。	3 大変評価する。 57.1%	・郷土資料館とセットになった施設見学は子どもにとっても良い体験になる。しかし、現状では校外学習にける補助が削減されたり、移動費用の値上がりなどの問題で、行きたくても行けない学校がほとんどである。逆に、出前授業や移動図書館(本の紹介)、読み聞かせなどで学校を訪れていただけたら、学校側はありがたい。 ・ボランティアを積極的に受け入れ、開かれた図書館、市民と協働でつくる図書館を推進している点を高く評価する。 ・施設見学に合わせて、絵本の読み聞かせを実施したのは良かった。 ・中学生の職場体験の方も真剣にやっていたので良かった。 ・配架・書架整理のボランティアの受け入れも続けてほしい。 ・施設見学人に「読み聞かせ」を実施していることはすばらしい。図書館の人員は少ないので、外部の応援者が主体となる協働を後援してやらねばならないと思う。 ・施設見学の受け入れはもっと行うべき。
	◆館の重点評価項目	地元の産業界との協働事業の実施	・アスパークまつり(江南区文化会館3館合同事業)への参画 ・「まちゼミかめだ」への参画 ・共催、協働事業の実施数 14件	・アスパークまつりへ参画し、併設・複合施設の利点を生かした協働事業を展開、図書館利用の一層の促進を図った。 ・「まちゼミかめだ」の各講座に合わせ図書館内に資料の関連展示を行い、ブックリストを配布。講座受講者へ豊富な図書館資料のPRと、新たな利用者獲得のための活動を展開した。 ・読み聞かせボランティア団体を始め、地元や各種関連団体と積極的に連携し協働事業を実施した。	3 大変評価する。 71.4%	・アスパークまつりへの参画、まちゼミかめだの講座に合わせた取り組みが計画的になされている。コロナ禍での実施には課題もあるが、今後できるだけ図書館をアピールしてほしい。 ・地域密着、生活密着で、市民相互の協働活動に参画し、関連展示企画でさらに利用者を増やすことにつなげている点を評価する。 ・アスパークまつりへの参画は、図書館を知ってもらう上でも良かった。「まちゼミかめだ」の資料展示も良かった。アスパークまつりに参加した人たちが楽しそうに図書館に行っていた。 ・本年は、新型コロナウイルス感染症対策であまり目立たなかったと思う。図書館事業と合致する文化事業があれば、図書館は後援団体(応援)としてどんどん参加したらどうか。 ・各種団体との協働は重要、もっと色々な団体とのコラボレーションを実現してほしい。